

出資法人等経営評価書(公益法人会計用)

平成15年7月1日現在

団体名	茨城県道路公社	代表者	理事長橋本昌	
所在地	茨城県水戸市笠原町978-25	所管部(局)課	土木部 道路建設課	
ホームページURL	http://www.i-road.or.jp	E-mailアドレス	honssha@i-road.or.jp	
基本財産	11,762,300 千円	設立年月日	昭和46年 9月25日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資率
	1	茨城県	9,858,800 千円	83.8%
	2	千葉県	1,903,500 千円	16.2%
	3		千円	
	4		千円	
	5		千円	
	その他	団体	千円	
設立目的	県の区域及び周辺の地域において、料金を徴収することができる道路の新設、改築、維持等の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与する。			
事業内容	1.有料道路の新設、改築、維持、修繕及び災害復旧その他の管理 2.国、地方公共団体の委託等に基づき、有料道路の管理と関連のある道路の管理 3.有料道路の建設及び管理 4.有料道路に必要な休憩所、その他施設の建設及び管理 5.国、地方公共団体等委託に関する調査、測量、設計、試験及び研究 6.その他、前各号に付帯する業務			

[組織]

7月1日現在の人数		斜字は、県関係者で内数(OBを含む)					
役員		平成13年度	平成14年度	平成15年度	13年度	14年度	15年度
	常勤理事	3	4	4	3	4	4
	非常勤理事	2	1	1	2	1	1
	常勤監事						
	非常勤監事	2	2	2	2	2	2
	計	7	7	7	7	7	7
職員	管理職	14	13	8	5	4	3
	一般職	19	18	16	8	7	6
	臨時職員	3	2	1			
	嘱託職員	12	12	33			
	計	48	45	58	13	11	9
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数
		5	6	13	24	46歳 6月	19年7月

[収支等の状況]

単位:千円

区分		平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
収支の状況	事業収入	6,311,397	4,103,029	4,443,039	4,856,803	5,429,239
	事業外収入	77,835	68,656	15,235	24,329	82,991
	収入合計	6,389,232	4,171,685	4,458,274	4,881,132	5,512,230
	事業支出	4,197,127	1,764,542	2,200,106	2,886,799	3,876,241
	事業外支出	709,900	716,858	672,153	579,167	676,717
	支出合計	4,907,027	2,481,400	2,872,259	3,465,966	4,552,958
	うち管理費	367,499	492,953	460,429	387,138	321,725
	うち人件費	466,509	394,473	457,439	425,528	417,480
	当期収支差額	1,482,205	1,690,285	1,586,015	1,415,166	959,272
	正味財産増加額(当期収支差額を除く。)			30,000		
	正味財産減少額()					
当期正味財産増減額	1,482,205	1,690,285	1,616,015	1,415,166	959,272	
前期繰越正味財産	14,915,086	16,397,291	18,087,576	19,703,591	21,118,757	
期末正味財産	16,397,291	18,087,576	19,703,591	21,118,757	22,078,029	
財産の状況	資産	51,322,515	53,438,058	55,310,971	57,482,869	55,742,132
	流動資産	4,807,552	5,827,741	6,569,651	6,881,849	3,782,100
	固定資産	46,514,963	47,610,317	48,741,320	50,601,020	51,960,032
	負債	19,676,017	19,630,035	19,276,015	19,264,759	15,918,634
	流動負債	3,259,250	3,041,762	3,222,274	3,720,837	3,269,697
	うち短期借入金	2,369,000	2,403,000	2,265,000	2,265,000	2,165,000
	固定負債	16,416,767	16,588,273	16,053,741	15,543,922	12,648,937
うち長期借入金	16,120,158	16,291,663	15,680,034	15,181,809	12,349,633	
正味財産	31,646,498	33,808,023	36,034,956	38,218,110	39,823,498	
財的関与状況	補助金					
	委託金	2,395,114	115,124	459,903	897,115	1,419,539
	貸付金	2,265,000	2,265,000	2,265,000	2,265,000	2,165,000
	計	4,660,114	2,380,124	2,724,903	3,162,115	3,584,539
	財政的関与の割合(%)			61	65	65
損失補償・債務保証	16,109,437	16,283,087	15,673,603	15,177,523	12,347,492	

公益法人会計用

[評価指標]

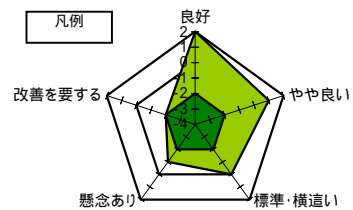
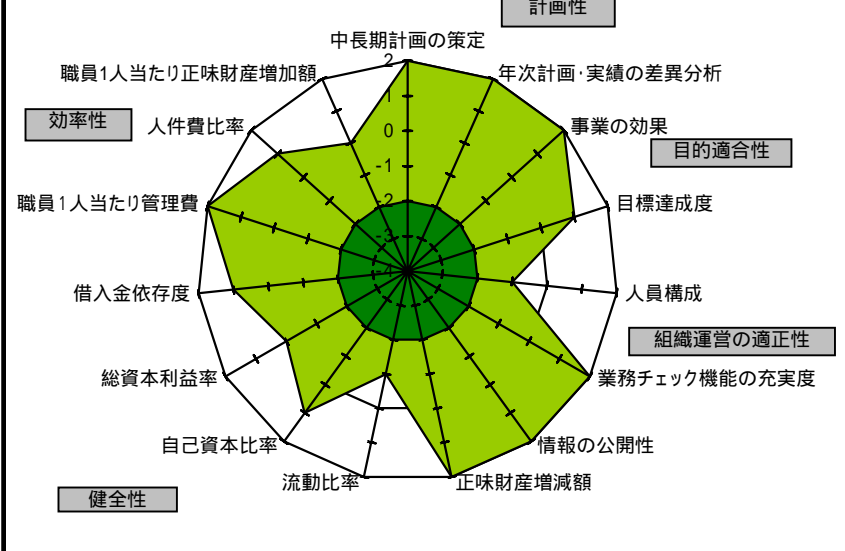
茨城県道路公社				12年度	13年度	14年度	評点	
計画性	1	経営基本方針の策定		経営基本方針の策定			2	
	2	中長期経営計画の策定		(経営改善計画:平成 ~ 年度)			2	
	3	年次事業計画の策定		具体的な目標設定			2	
	4	年次計画・実績の差異分析		計画未達成の原因分析と対策			2	
目的適合性	1	事業の意義		事業の必要性の検証			2	
	2	事業の効果		(評価の指標:利用者の満足度)			2	
	3	顧客満足度の把握		(調査方法:アンケート調査)			2	
		目標達成度	%	実績値 ÷ 目標値 × 100	101	100	97	1
	5	収益事業比率	%	収益事業の事業費 ÷ 全事業費 × 100	0	0	0	2
組織運営の適正性	1	人員構成		役員・職員の構成,年代構成の適正化			-1	
	2	職員の動機付け体制		組織の各職員の目標・成果に対する評価			2	
	3	業務チェック機能の充実度		業務遂行における組織のチェック機能			2	
	4	情報の公開性		事業活動内容・財務の公開状況			2	
健全性	1	収支比率	%	事業支出 ÷ 事業収入 × 100	50	59	71	2
		正味財産増減額	千円		1,586,015	1,415,166	959,272	2
		流動比率	%	流動資産 ÷ 流動負債 × 100	204	185	116	-1
		自己資本比率	%	正味財産 ÷ 総資本 × 100	65	66	71	1
	5	総資本利益率	%	正味財産増加額 ÷ 総資本 × 100	3	2	2	0
		借入金依存度	%	借入金 ÷ 総資本 × 100	32	30	26	1
		借入金返済能力	年	借入金残高 ÷ (当期正味財産増加額 + 償却費 + 引当金・積立金)	7	8	8	0
	8	補助金収入依存度	%	補助金収入 ÷ 収入合計 × 100	0	0	0	2
	9	受託事業の再委託度	%	受託事業の外部委託費 ÷ 受託事業費 × 100	87	92	95	-1
		土地の含み損益						2
	11	資金の運用						2
効率性	1	職員1人当たり管理費	千円	管理費 ÷ 職員数	9,397	8,065	7,149	2
	2	人件費比率	%	人件費 ÷ 収入合計 × 100	10	9	8	1
	3	職員1人当たり事業収入	千円	事業収入 ÷ 職員数	90,674	101,183	120,650	2
	4	職員1人当たり正味財産増加額	千円	正味財産増加額 ÷ 職員数	32,980	29,483	21,317	0
	5	役員人件費比率	%	役員人件費 ÷ 人件費 × 100	8	8	13	-1
	6	(施設管理運営型)施設等利用率	%	施設等利用延人数 ÷ 施設等定員数 × 100				
	7 1	(施設管理運営型)・職員1人当たり施設等利用人数	人	施設等利用延人数 ÷ 職員数				
	7 2	(建設製造販売型)職員1人当たり建設・製造・販売実績	件	建設・製造・販売実績 ÷ 職員数	90,985	101,690	122,494	2
	7 3	(役務提供型)・職員1人当たり役務提供実績	件	役務提供実績 ÷ 職員数				
7 4	(金融サービス型)・職員1人当たり貸付等取扱件数	件	貸付等取扱件数 ÷ 職員数					
8	使用料の減免等		(使用料の減免額: 千円)				2	
9	管理費削減工夫度		削減目標の設定及び成果				2	

評点集計

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	8	8	100.0%
目的適合性	5	12	14	85.7%
組織運営の適正性	4	5	8	62.5%
健全性	10	16	40	40.0%
効率性	8	16	28	57.1%
合計	31	57	98	58.2%

警戒指標

経営評価レーダーチャート



[経営概況, 経営上の課題・対策等]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
中長期計画を見直し、経営の安定化を図る。	設立目的に添って事業運営しているが、更にお客様への満足度を高めるため、アンケート調査、ホームページ等の広報活動の強化及びサービス向上を図る。	中長期計画に基づいて、将来性を勘案し、業務量に応じた組織のスリム化を図り、職員個々の経営参画意識の向上や、積極的な問題意識をもてる組織にする。	経営の健全性を向上させるため、有料道路の安定化を図る。また、受託事業については、事業の性格上(建設工事)再委託はやむを得ないので適正に執行するよう努める。	人件費、管理費の削減を図るため、本年度、管理事務所を本社に統合した。今後、管理職(特に役員)の削減を図る。
今後の事業展開の方向	現在、10路線管理しているが、採算性の悪い表筑波スカイライン、石岡有料道路及び筑波スカイラインの3路線については、運営資金の不足を補うため、県から事業運営資金(1年間無利子貸付金)を受け運営している状況である。一方、水郷、新大利根橋及び霞ヶ浦有料道路の3路線は、計画交通量を上回り、採算性が良いことから、制度上可能な方策を活用し、経営の安定化を図りたい。			

記載者職氏名 副理事長 鈴木 宏志

代表者への説明(年月日及び説明時の指示等)

平成15年7月22日 業務報告

[所管課意見]

計画的性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
<p>社会情勢の変化を反映させた計画とするため、随時、計画の修正・見直しをすることが必要。</p>	<p>地方道路公社法により規定されている事業内容の範囲内で、より良いサービスの提供や今後の事業展開について内部検討を行っていく必要がある。</p>	<p>道路公社の将来性を勘案すると、管理事業を中心とした組織のスリム化を進めることも重要であるが、職員構成のバランスをとり、公社内で経営責任者を育成していくような体制づくりを行っていくことも必要。</p>	<p>経営の健全性を向上させるためには、各有料道路利用者の増加が必要不可欠であり、そのための方策（PR、広報活動等）を検討していくことが必要。また、県として、不採算路線への支援も引き続き実施していく。</p>	<p>職員の年齢構成が逆三角形状態にあり、今後、県の派遣職員も含めて、全体のバランスを再構築していくことが必要。</p>
<p>総合的所見等</p> <p>道路公社全体の収支を見ると黒字であるが、有料道路事業は各路線別の収支で運営することが原則であり、個別路線ごとに見た場合、計画以下の交通量のため赤字状態にある路線が多い。今後、収支の良い路線が無料開放となった場合、運営資金の調達に困難となり全体収支が赤字となることが予想されるため、制度上可能な方策を運用し、債務の圧縮に努めていくことが必要である。また、将来的に収支の良化が見込めない路線については、有料道路事業の廃止について検討を行っていく必要もある。</p>				

[経営評価チームの意見]

計画的性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
<p>有料道路の建設という公社本来の事業は、計画的に実施されている。有料道路は供用開始後に通行料を取って建設費の償還にあてるが、通行量が少ない道路は通行料のみでは建設費の償還に不足が発生する。平成16年度の路線無料開放時にも償還の不足が発生する見込みであり、その処理について、具体的の方針を決定する必要がある。</p>	<p>公社の事業目的は道路を建設するのみでなく、供用開始した道路が、便益性を高め利用者の満足度が高いこと、計画どおりの料金収入があることが、事業効果を計るものであり、引き続き利用者の満足度の把握に努め、これを参考に事業を実施していくべきである。</p>	<p>年齢構成の偏り、管理職比率の高さについては、計画的に改善を図っていくべきである。</p>	<p>道路公社独特の経理により、有料道路の料金収入は償還準備金等として積み上げ、収支は均衡しているが、料金収入が償還に必要な額に対して不足している。有料道路10路線のうち採算性の悪い3路線に、県より毎年度20億円程度を短期貸付し、金利分の軽減を図っている状況であり、健全とはいえ財務状況である。</p>	<p>管理費、人件費等内部の経費は削減されている。有料道路の利用率を上げるための料金引下げ等の試行やPR等の強化を図っていく必要がある。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">緊急の改善が必要</div> </div>				
<p>総合的所見等</p> <p>道路建設事業は収益性を踏まえた実施を図っていくとともに、供用中である有料道路内の不採算路線の料金見直し等の利用拡大対策、路線無料開放時の償還不足額の処理などを検討・実施していく必要がある。</p>				